

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算スピードや内容理解の個人差が大きい。 ・既習内容の理解が乏しく、新しい学習内容についてこられない。 ・問題の意味が正確に読み取れず、解決方法が分からない。 ・答えは導けても、筋道を立てて考え、説明することに慣れていない。 ・学習内容が理解出来ていても、苦手意識から自信がもてない。 ・挙手が少ない。 ・考えが書けない。 		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてと問題を提示し、まとめと振り返りで学習内容を確認する。 ・ペアやグループ学習を通して、互いの考えを伝え合う場を設定する。一人一台端末を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題では、何を聞かれているのか、何が分かっていることなのかを確認する。 ・新しい用語が出た際には、掲示物を用意したり、毎時間確認の時間を設けたりして、内容を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年の「探究の時間」で行っている都道府県について、人口や面積を「大きな数」や「概数」の単元と結び付けて学習している。
<p>その他授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題練習の時間を設け、基礎・基本を徹底し、学習内容の定着を図る。また、単位など答え方の決まりに気を付けさせる。 ・少人数指導を実施し、補充的な指導や発展的な指導を通し、習熟度に応じたきめ細やかな指導を行えるよう工夫する。 ・ノートを充実させることにより、課題を論理的に解決していく力や、自分の考えを文章で表す力を高める。 ・自分の意見を、友達が説明できるように、考えをまとめて説明する力を高める。 ・ICTを積極的に使い、個別最適な学習を進める。 		

